

# アグリ・バイオ公開シンポジウム

## Division of Agri-Biotechnology

2016年7月28日(木) 東京理科大学 葛飾キャンパス 図書館ホール



本研究部門では、穀物生産性向上にフォーカスした基盤的研究を実施します。植物機能の向上を細胞レベル、個体レベル、集団レベルの観点で検証し、DNAから生産環境に至る様々な場面における生産性に関わる諸因子の機能向上を図ります。これにより sustainable で安定的な穀物生産性を目指し、ゲノム編集技術などの New Plant Breeding Technology (NBT) の活用、ゲノム情報を活用した品種改良や栽培システムの活性化・効率化に向けた基盤的知見を得ることを目的としています。

### ▶ プログラム

13:10 開会挨拶

13:15 西山 真 (東京大学生産生物工学研究センター)  
アミノ基キャリアタンパク質を介する生合成: 発見と普遍性

13:45 諸橋 賢吾 (東京理科大学理工学部応用生物科学科)  
植物遺伝子発現制御ネットワークのダイナミクス

14:15 岡田 憲典 (東京大学生産生物工学研究センター)  
化学防御物質を利用した植物の巧みな生存戦略とその進化

14:45 コーヒーブレイク、ポスターセッション

16:00 今村 智弘 (石川県立大学生物資源工学研究所)  
植物を利用した効率的な有用物質生産システムの構築に向けて

16:30 梅基 直行 (理化学研究所環境資源科学研究センター)  
毒をつくらないジャガイモ

17:00 高野 誠 (農研機構生物機能利用研究部門)  
イネをプラットフォームとした有用物質の生産 - スギ花粉症などの経口免疫療法への応用も期待

17:30 閉会挨拶

18:00 懇親会



### ▶ アグリ・バイオ工学研究部門に関するお問い合わせ

東京理科大学 研究戦略・産学連携部 研究戦略・産学連携課 〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1  
TEL: 03-5876-1531(直通) / 03-5876-1717(大学代表) 内線: 1211 E-mail: kenkyu1@admin.tus.ac.jp

<http://www.rs.tus.ac.jp/agri/index.html>